

報告事項セ

平成20年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成20年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について、別紙のとおり報告します。

平成20年10月16日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成20年10月16日
スポーツセンター

1 表彰の趣旨

地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び団体を文部科学大臣が表彰する。

2 表彰式

- (1) 日 時 平成20年10月7日(火)午後2時15分～午後2時45分
(2) 場 所 中央合同庁舎第7号館3階講堂(東京都千代田区霞が関3-2-2)

3 本県の受賞者(団体)及び功績等

(1) 生涯スポーツ功労者

氏 名	井 上 慶 身 (いのうえ よしみ)
役 職	鳥取県空手道連盟理事長
主要経歴	昭和53年7月～現在 鳥取県空手道連盟理事長 平成5年4月～平成11年3月 全日本空手道連盟理事
功 績	県内はもとより全国的な選手・指導者からも注目を集める卓越した指導力により、本県空手道の競技力向上に大きく貢献している。 また、日々の道場活動や連盟主催の合同練習会等を通じ、青少年の健全育成に大きく寄与してきた。

氏 名	高 濱 穆 史 (たかはま あつし)
役 職	鳥取県水泳連盟理事長
主要経歴	平成17年4月～現在 鳥取県水泳連盟理事長 昭和63年4月～現在 日本水泳連盟評議員
功 績	本県水泳競技の高校生を中心とするジュニア層の指導に尽力した。特に、飛込み・水球の競技力向上に力を注ぎ、未普及競技を本県に根付かせた功績は多大であるとともに、ジュニアクラブ育成の基礎を築くなど競技人口の拡大にも大きく寄与している。 また、県水泳連盟の理事長として組織の充実に努めるとともに、県民スポレク祭やスイミングスクールの開催など連盟事業の中核となり生涯スポーツの推進に大きく寄与している。

氏 名	山 名 恵 美 (やまな えみ)
役 職	鳥取市ペタンク協会副会長 鳥取県体育指導委員協議会女性委員会副委員長
主要経歴	平成元年～現在 鳥取市ペタンク協会副会長 平成11年4月～現在 鳥取県体育指導委員協議会女性委員会副委員長
功 績	昭和60年ごろから現在に至るまで、スポーツ振興に係る各種の委員会や審議会等の役職を歴任する傍ら、自らも本県の生涯スポーツ分野・地域スポーツ分野における女性の先駆けとして、本県におけるスポーツ全体の普及奨励に幅広く指導力を発揮している。 また、体育指導委員として24年間にわたり体育振興に尽力するとともに、市・県の役員を歴任し、女性委員の中心的存在として女性委員をリードしている。

氏名	水田靖子（みずた やすこ）
役職	鳥取県スポーツチャンバラ協会事務局長
主要経歴	（財）日本レクリエーション協会からの推薦のため、詳細は不明。
功績	

（２）生涯スポーツ優良団体
スポーツクラブ

団体名	わたの和クラブ（米子市）
代表	塚田匠（つかだ たくみ）
功績	本クラブは、米子市和田地区公民館活動の中の和田地区インディアカ同好会として発足し、その後鳥取県インディアカ協会を立ち上げる原動力となるなど、生涯スポーツの発展に大きな功績を残すとともに、鳥取県で開催された「全国スポレク祭」や「全国レクリエーション大会」の運営においてもクラブ員がスタッフとして貢献するなど生涯スポーツの発展に寄与した。

団体名	スポねっとちづ（智頭町）
代表	古田浩（ふるた ひろし）
功績	本クラブは、智頭町内の小学校が、急速な少子化によりスポーツ活動、特に団体スポーツの活動が行えなくなった状況を踏まえ、子どもたちに、スポーツの楽しさや十分なスポーツ活動をさせたいという地域の願いから総合型地域スポーツクラブに取組み、「スポねっとちづ」として地域に根ざした活動を展開し、地域スポーツの振興に大きな影響を与えている。

スポーツクラブ以外

団体名	北栄町スポーツ少年団（北栄町）
代表	岩垣博士（いわがき ひろし）
功績	本スポーツ少年団は、スポーツ活動や各種大会への参加を通して技能の向上を図るとともに、スポーツ少年団の理念に基づき、地域活動への積極的参加や奉仕活動等に指導者や保護者と一緒に取り組むことで、ボランティア精神を養い、青少年の健全育成に尽力している。 また、様々な活動、交流を通して相互の親睦を深めるなど、他の模範となる活動を行なっている。